

①
同じようにSS結合を持つ
ゴム分子とケラチン分子ですが、
ゴム分子にはなくて、
ケラチン分子にあるものが
あります。

②
それは、分子の規則性です。
ゴム分子にはありませんが、
ケラチン分子には、
SS結合だけではなく、
分子の規則性があるのです。

③
■ゴムは「SS結合」だけを持つ
■ケラチンは「SS結合」だけでなく
「分子の規則性」も持つ

④
SS結合しか持たないゴム分子は
伸び縮みするのですが、
SS結合だけでなく分子に規則性
を持つケラチン分子には、
機能(働き)があるのです。

⑤
その機能とは、
曲げても折れずに元に戻ること、
曲げても疲労しない性質を持つこと
などが
挙げられます。

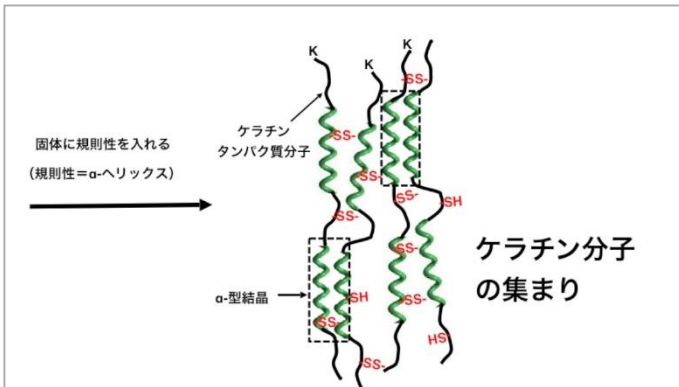
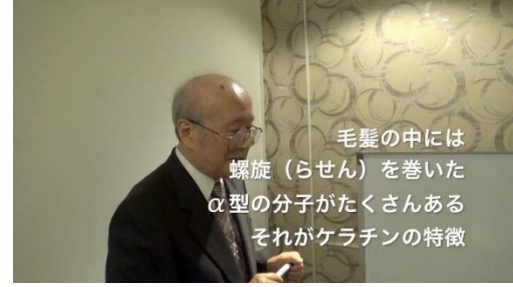
①
同じようにSS結合を持つゴム分子とケラチン分子で
すが、ゴム分子にはなくて、ケラチン分子にはあるも
のがあります。

②
それは、分子の規則性です。ゴム分子にはありませ
んが、ケラチン分子には、SS結合だけではなく、分子
の規則性があるのです。

③
■ゴムは「SS結合」だけを持つ
■ケラチンは「SS結合」だけでなく「分子の規則性」も
持つ

④
SS結合しか持たないゴム分子は伸び縮みするだけ
ですが、SS結合だけでなく分子に規則性を持つケラチ
ン分子には、機能(働き)があるのです。

⑤
その機能とは、曲げても折れずに元に戻ること。曲げ
ても疲労しない性質を持つことなどが挙げられます。



■らせんの集まりが結晶である。

■ケラチン分子は、らせんの集まりである結晶を所々に持っている。

■それがケラチンの機能発現に関係している。

①
ケラチンは、SS結合だけでなく
分子の規則性を持ったことで、
“軽くて強い”
という特徴があります。

②
そのため
「曲げても折れずに元に戻る」
「硬いが伸びやすい」
「曲げても疲労しない性質を持つ」
などといった機能があります。

③
これらの特徴については、
今後の講座で解説していきます。
ご期待ください！

①
ケラチンは、SS結合だけでなく分子の規則性を持
ったことで、“軽くて強い”という特徴があります。

②
そのため「曲げても折れずに元に戻る」「硬いが伸び
やすい」「曲げても疲労しない性質を持つ」などとい
った機能があります。

③
これらの特徴については、今後の講座で解説してい
きます。ご期待ください！